

ふるさとの温もり 言葉に込めて

1/16

「話楽座」が感謝の気持ちと日頃の練習の成果を語りで表現

中川根語り部の会「話楽座（澤井初美会長）」が今年も文化会館で「第22回昔ばなし語り部まつり」を開催しました。

同会員4人が川根地域に伝わる民話を感情豊かに方言を交えながら表現。来場者約80人を「語り」の世界にいざないました。

公演中の換気や来場者に手指の除菌を呼びかけるなど新型コロナウイルス感染症への対策を徹底した中で行われました。

この日、特別ゲストとして朗演（朗読と演劇を合わせた）「エトピリカ」に所属する話楽座の講師の岡尾智津子さんが招かれ、浅田次郎作「雛の花」を披露しました。鬼気迫る表情と抑揚をつけた語りにより観客は魅了されていました。

澤井会長は「日頃支えてくれる皆さんの存在が、私たちの大きな励み。感謝の気持ちを届けることができました。子どもたちに民話を話すと目を輝かせて応えてくれる、コロナが収まってもっと活動の幅が広がって、次の世代に民話をつないでいきたい」と決意を新たに話しました。



(上段) 中原すま子さん(地名区)の語りで眼前に田園風景が広がる  
(中段左) 粋な江戸言葉で語る岡尾さん  
(中段右) 山犬のはなしを披露する奥野恵美子さん(梅高区)  
(下段) 大盛況に感謝しないと語る皆さん

1/27 新年の決意 声高らかに



▲声からしながら想いを叫ぶ  
▶大胆な主張に歓声を上げる生徒たち

緊張の瞬間 思いの丈を全身全霊で叫びました

中川根中学校で、生徒会が企画した「新年の叫び 2021」が行われ、1年から3年生の生徒16人が今年の目標や日頃の思いを叫びました。

希望者がありつたけの声で抱負を叫ぶと、校庭で見守った全校生徒や教諭たちから歓声と拍手がわき起こりました。

将来の目標を宣言した3年生の塚本和也さん(地名区)は昨年度から赴任した内藤勝己教諭に向けて「先生のような理科の面白さを伝えられる教員を目指します」と伝えると、内藤教諭は「いつか一緒に働こう!」と激励で応えました。

もしもの時、「AED」使えますか？

1/31

2/3

大切な人、身近な人が目の前で倒れた時、その人の命をつなぐために

エコティかわねが主催した「もしもの時の応急措置と救急救命講座」が伝統文化伝承館「時愛」で行われました。

社会福祉協議会の梶原孝亮さん(水川区)を講師に、参加者はAEDを使った心肺蘇生法や浴室やトイレで事故が発生したときの対応方法について学びました。

身近で人が倒れた時に慌てずに行動することが重要と話す梶原さんは「実習講座を繰り返すことが、いざという時に役立つ知識の定着につながる」と今後も継続した講座への参加を呼びかけました。



提供:(一社)エコティかわね

AED(自動体外式除細動器)の使い方を学ぶ参加者

2/4 優しく差し込む光を描いて

水彩画デスケルクラブでの創作活動の成果実る

(公財)しずおか健康長寿財団が主催する第24回静岡県すこやか長寿祭美術展が行われ、諸田史恵子さん(久野脇区)の作品が洋画部門で銅賞に輝きました。

諸田さんは、水彩画や油彩画などの芸術活動を行っている神尾昌義さんが講師を務める水彩画デスケルクラブに加入し、夏頃から入賞作品を描き始めました。「窓から差し込んだ柔らかな光が一番のポイント」と作品に込めた想いを熱く語り、「今後もクラブの仲間たちと楽しく絵を描き続けていきたい」と笑顔で話しました。



「入賞するなんてびっくり!」作品とほほえむ諸田さん

子どもたちにいっぱい夢を

2/17

主人公の「僕」が体験するひと夏の不思議な時間を来場者にとどける

劇団たんぼぼによる演劇「くぐつね山の不思議な夏」が文化会館で開催されました。

この日、町内の子どもなど約50名が来場し、主人公の「僕」が体験した不思議な夏休みのひと時に、笑ったり驚いたりしながら幻想的で愉快的な時間を過ごしました。

お子さんと観劇した板谷康平さん(水川区)は「これまで演劇を見る機会はほとんどありませんでしたが、子どもと一緒に見入ってしまいました。次の公演があればぜひ見に行きたい」と笑顔で次回の文化会館演劇公演への期待を話しました。



不思議な世界に引き込まれる来場者の親子